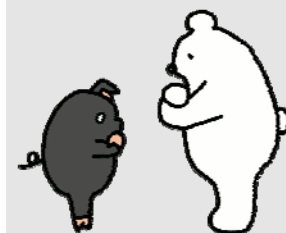


第四回大学図書館 学生協働交流シンポジウム への参加報告



鹿児島大学附属図書館
水産学部分館情報サービス係
上床 亜衣

ゼロ



から考える 学生協働

次の1歩を踏み出そう

いま、各地で大学図書館を舞台として、学生が職員とともに図書館の運営にかかわり、さまざまな企画に取り組んでいます。さっとこの取り組みによって図書館が変わる！学生も変わる！職員も変わる！このシンポジウムでは「そもそも学生協働とは？」というところから将来の学生協働について考えていきます。

2014年

8 / 21 - 22
THU FRI

山口大学 (吉田キャンパス)
大学会館 他

〈プログラム〉

8月21日 (木)

13:00- 開会

13:10- 基調講演

「キャリアから考える学生協働」

講師：山口大学大学教育機構 平尾元彦教授

14:50- ポスターセッション

18:00- 交流会

8月22日 (金)

9:00- ワールド・カフェ

「学生協働は利用者の役に立っているのか？」

コーディネーター：山口大学大学教育機構 林透准教授

12:00 開会

主催 島根大学附属図書館／島根大学教育開発センター
島根県立大学メディアセンター
梅光学院大学図書館／梅光学院大学学生支援センター
山口大学大学情報機構／山口大学大学教育機構

共催 山口県大学図書館協議会

後援 中国四国地区大学図書館協議会
島根県大学・高等専門学校図書館協議会
山口大学後援財団

〈申込み〉

下記のWEBサイトから申し込みください。
<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/LA/sympo2014>
2014年7月18日 (金) 締切

〈お問い合わせ先〉

山口大学総合図書館 (山口市吉田1677-1)
TEL 083-933-5182
Mail libkyodo@yamaguchi-u.ac.jp
@libkyodo2014

参加した研修会情報

研修名：

第4回大学図書館学生協働交流

シンポジウム～0から考える学生協働～

開催日：

2014年8月21日 (木) 13:00-16:50

2014年8月22日 (金) 9:00-12:00

会場：山口大学吉田キャンパス

* 詳しくは以下URLをご参照下さい。

<http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/LA/sympo2014/>

プログラム(1日目：8月21日(木))

13:10-14:10 基調講演

「キャリアから考える学生協働」

講師：山口大学大学教育機構 平尾元彦 教授

14:50-16:50 ポスターセッション

テーマ①：私たちの考える図書館づくり

②：活動を通して得られたこと

③：各大学の学生協働の特色・ポスター発表

17:10-17:40 山口大学総合図書館見学

18:00-19:30 交流会

プログラム(2日目:8月22日(金))

9:00-11:30 ワールドカフェ

「学生協働は利用者の役に立ってるのか？」

コーディネーター: 山口大学大学教育機構 林透 准教授

12:15-13:45 事例報告および意見交換(※教職員のみ)

報告内容

- 1、基調講演「キャリアから考える学生協働」について
- 2、ポスターセッションについて
- 3、ワールドカフェ「学生協働は利用者の役に立ってるのか？」
について
- 4、事例報告および意見交換について
- 5、山口大学総合図書館見学 について

1、基調講演「キャリアから考える学生協働」 (講師:山口大学大学教育機構 学生支援センター教授 平尾元彦先生)

- キーワードは「変化・主体性・理念」
- 社会の中で求められる能力=主体性
- キャリアの視点から大学で学ぶこと
 - ・本から学ぶ
 - ・体験から学ぶ
 - ・先生から学ぶ
- キャリアの視点で重要なこと
 - ・ 将来を決めることは、さほど重要ではない
 - ・ 目の前のことを一生懸命やること
 - ・ 学習することは重要だということ
 - 学習意欲と学習習慣

1、基調講演「キャリアから考える学生協働」
(講師:山口大学大学教育機構
学生支援センター教授 平尾元彦先生)

～キャリアから考える学生協働へのメッセージ～

- 1、理念は大切。学生協働に理念はあるか！？
- 2、他のことに興味を持つ、考える、動く
- 3、組織運営を学び、チームで働く力をつける

これからの変化を創ってゆくことが学生協働の役

1、基調講演「キャリアから考える学生協働」 (講師: 山口大学大学教育機構 学生支援センター教授 平尾元彦先生)

—質疑応答—

- ・「学生協働の場が図書館である必然性は?
図書館以外にも協働の場があるのではないか?」
→図書館である必然性はないが、現在は図書館が一步先んじているし、学生が多く出入りしている
- ・「キャリアを意識させながら活動を進める上での
職員の役割とは?」
→例えば、ミーティングで活動の意味付けをサポートする等

2、ポスターセッション



2、ポスターセッション

- 島根大学・・・「利用サポート」&「自主企画活動」
- 島根県立大学・・・「地域の方との読書会」
- 九州大学・・・Web Guide
- 山口大学医学図書館・・・DVD視聴用タブレット設置
- 山口大学総合図書館・・・キャリア支援センターとの協働

3、ワールドカフェ

テーマ：学生協働は利用者の役に立ってるのか？



3、ワールドカフェ

テーマ：学生協働は利用者の役に立っているのか？

- そもそも図書館の役割・求められていることは？
- 学生がしても職員がしても同じなのでは？
- 学生協働のメンバーは、本当に利用者目線に立っているのか？
- 自己満足なのでは？

→・理念

- ・対象が「利用者」であることを再認識する必要性

「学生は変化している」

4、事例報告および意見交換（教職員のみ）

- お金がかかる・かからないは気にせずに企画してもらう
- 職員も「チームで対応」
- モチベーションの維持について
 - ・本人たちが楽しむ・苦楽を共にする
 - ・職員から学生協働メンバーに声かけを
 - ・ノート（日誌）に何でも書いてもらって、必ず職員はコメントをする。
 - ・「ほめられたとき」・「しかられたとき」
（＝ちゃんと自分を見てくれている）
- ヘビーユーザーは大人しい&満足している
→ほとんど利用しない学生を引き入れる
「何で図書館を利用しないの？」